

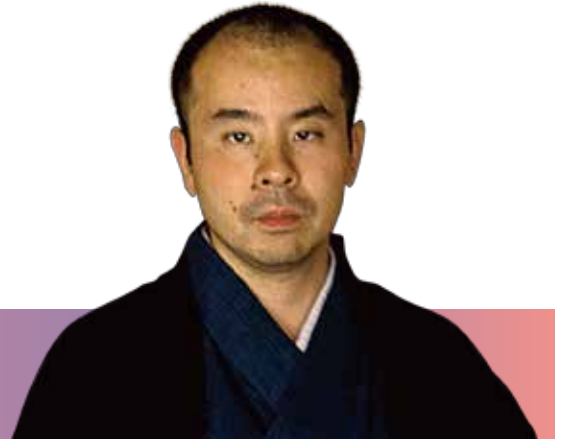
千宗屋先生と学ぶ 【茶の湯と日本の美】

講師

武者小路千家 家元後嗣

千宗屋

Sooku Sen



茶の湯には日本のあらゆる美意識が盛り込まれています

茶の湯には、日本人としてのものの見方や考え方、感性や美があります。茶道具は茶席で使う道具であると同時に、単独での鑑賞に耐えうる作品でもあります。それゆえに抽象的な思想だけでなく具体的な形で、長い年月をかけ固有の文化に高められてきた日本の美が表われています。

このたび、茶の湯の美術の変遷を展観する大規模な特別展「茶の湯」が開催されます。時代を超えて人々の心をとらえ、受け継がれてきた名物、名家秘蔵や国宝級の名品が一堂に揃う本展を軸に、私自身の考えや経験を交えながら、皆さんと一緒に茶の湯と日本の美を深耕したいと思います。

千宗屋

5/10水

18:30-21:00

茶の湯と美の歴史 1

茶が12世紀に日本にもたらされて以来、禅僧、将軍、武将、茶人、数寄者たちなどは美を見出し、用い、創造してきました。室町時代から近代まで展観する今回の展覧会を軸に、茶の湯と美術の変遷の全容を見ることから始めましょう。

6/7水

18:30-21:00

唐物、高麗、和、現代へ4 茶の湯と美の変遷

中国の美術品「唐物」の最高級を集めた足利將軍家の美。名だたる戦国武将たちの心をとらえた名碗。町衆や茶人たちが見出した「高麗物」「和物」。そして近代、現代に続く美の創造。時代を超えて人々の心をとらえてきた茶の湯と美の変遷をたどります。

5/19金

18:00-20:00

特別展「茶の湯」鑑賞 2

茶人たちが形にした美、鑑識眼で見いだした美、受け継いできた美に会いに行きましょう。特別展「茶の湯」に皆さんを案内し、茶の湯や美について語り合う時間を持つたいと思います。
(会場:東京国立博物館 平成館)

6/21水

18:30-21:00

千利休と茶人たちの5 茶の湯と美

千利休なしに茶の湯を語ることはできません。村田珠光、武野紹鷗から継承し、利休が大成した侘茶。それを継いできた三千家。精神を受け継ぎ変革や再興をしてきた時代の茶人や数寄者たち。利休が生み出した美、見出した価値、もたらした革新など、利休を中心に茶の湯の美をたどります。

5/24水

18:30-21:00

茶の湯のための3 茶碗とは

茶碗は、数ある茶道具のなかでも特別な存在です。手にとり、口をつける。亭主と客を唯一往還する。時に銘がつけられ、メッセージが込められ、象徴的な役割を担う。今回の展覧会でも貴重な名碗たちが揃います。茶碗とは何か、名碗たらしめる理由とは何か、作品を入口に見ていきたいと思ひます。

7/5水

18:30-21:00

千宗屋が考える6 茶の湯の美

創意工夫、時代精神、独自の美意識、私はこの3つが茶の湯の起源だと思っています。私自身が観る美、経験、考えをお話しながら、皆さんと現代の文脈で引き寄せ、ヒントにできる茶の湯と美の本質を考えてみたいと思ひます。

家元後嗣 千宗屋先生に学ぶ

その審美眼と感性から“現代の千利休”とも評され、中世日本絵画史を研究領域とされる千宗屋先生より直々に茶の湯の心と日本美術を学びます。千先生は毎回、“いま”のお話、体験、出会い、思いを織り込んでお話くださいますので、以前ご参加いただいた方にも楽しみ学んでいただけます。

特別展「茶の湯」

おもに室町時代から近代まで、「茶の湯」の美術の変遷を大規模に展覧する特別展「茶の湯」(東京国立博物館平成館)を千先生の案内で鑑賞します。

※鑑賞券・図録は配布します。

開 催 概 要

日 程	2017年 5/10(水)、5/19(金)、5/24(水)、6/7(水)、6/21(水)、7/5(水)
回 数	6回
時 間	第1回 18:30-21:00 (2.5時間) 第2回 18:00-20:00 (2時間) 第3-6回 18:30-21:00 (2.5時間)
定 員	30名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス (第1,3-6回) 東京国立博物館 平成館 (第2回)
参加費	108,000円 (消費税8%込)
おすすめしたい方	◎茶碗、釜、書、掛け軸など茶道具を通じて日本美術について理解を深めたい方 ◎茶の湯と日本美術の奥深さに触れ、魅力を堪能したい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

千 宗 屋 (せん そうおく)

1975年京都府生まれ。1998年慶應義塾大学環境情報学部卒業、同大学大学院前期博士課程修了(中世日本絵画史)。2003年に武者小路千家十五代次期家元として後嗣号「宗屋」を襲名。慶應義塾大学総合政策学部特任准教授、明治学院大学非常勤講師(日本美術史)。

現代アートの芸術家や建築家など他分野とのコラボレーションに精力的に取り組む一方、2008年には文化庁文化交流使としてアメリカで活動。

■主な著書

『茶 利休と今をつなぐ』(新潮新書)

『もしも利休があなたを招いたら 茶の湯に学ぶ“逆説”のもてなし』(角川oneテーマ21)

『名碗を観る』(共著・世界文化社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定。諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agera.net/>

参加者

講座名	千 宗屋先生と学ぶ【茶の湯と日本の美】	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込み
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。 ◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。 ◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込みのみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) ※夕学五十講、クロシングは慶應カード割引のみ適用

【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。

◆20%割引：108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合

◆10%割引：上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合

【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。

【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロシングは対象外)

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階

株式会社慶應学術事業会

TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。